

フラッシュ

ラブロス、専用実施権など取得

電子機器販売のラブロス(東京・千代田、金山和男社長)は、同社が販売するLED電球「マジックバルブ」の国内での専用実施権と実用新案技術評価書を取得したと発表した。マジックバルブはリチウムイオン充電池を内蔵し、停電時などに取り外して懐中電灯として使える。類似商品が出回っており、専用実施権の取得で流通を差し止める狙いもある。

マジックバルブは中国企業が開発し、ラブロスが日本国内で販売している。内蔵の充電池を使って非常灯として最大7時間程度点灯できる。2011年の東日本大震災後の電力供給不足を受けて需要が高まり、これまでに約20万個を販売した。市場にはコピー商品が出回っており、発火や発煙事故が起きた例も確認されている。